

函館で学童保育指導員交流会 父母と指導員の「共同の子育て」学ぶ

11月23日、函館で「学童保育指導員交流会」を開き、建交労に未加入の指導員をふくめて10人が参加しました。この交流会は「道南・学童保育総がかり計画」の一環で開いたもので、建交労全国学童保育部会の元部会長の山本隆夫さんを招いて、名古屋での実践を聞きながら悩みや願いを話し合いました。山本さんは、学童保育は父母と指導員の「共同の子育て」であり、保育（保護・愛護・教育）を必要とする学童期の子どもたちの権利を保障していくことが役割だと強調しました。参加した指導員からは「なぜ指導員がやめてしまうのか」「なかなか指導員のなり手がいない」などの声が出され、山本さんからアドバイスを受けました。

交流会では、全国学童保育部会がまとめた「学童保育の改善政策要求」も紹介され、国が学童保育基準の緩和・撤廃に動こうとしている中で、これを許さない運動を国と自治体にむけて強めるために建交労の組織をもっと大きくすることが訴えられました。

年末一時金 リヴィノールシステムで回答

正職員 1.7 か月分など前年同率・同額

札幌合同支部リヴィノールシステム分会は、11月19日に会社から年末一時金の回答を受けました。回答は、正職員=1.7か月分、準職員=1.24か月分、パートナー職員=0.61か月分、継続雇用職員=25,000円、アルバイト職員（週5日以上）20,000円、同（週5日未満）10,000円で、前年と同率・同額です。

HPを見てトラック労働者が建交労に加入

ホームページで建交労を知った胆振管内のトラック労働者が、11月に建交労に加入しました。トラック運転手の業務改善、公平な配車、閑散期の仕事確保、過積載防止、運行管理の適正化などの要求を実現するために同じ職場で働く仲間の先頭に立ちたいと決意をもって加入したものです。

戦争させない総がかり行動

道本部・宮澤書記次長がアピール

11月20日、観測史上2番目に遅い初雪となった札幌で「戦争させない総がかり行動」がおこなわれ350人が「安倍9条改憲を許さない」決意を示しました。デモパレードに先立つ集会で、建交労道本部の宮澤書記次長が「自民党改憲草案は、憲法の三大基本原理を根幹から破壊し、国民を国家権力でしぼるための憲法全文の書き換えであり、9条改憲で自衛隊=国防軍を戦地へ送り込むことすら国民に尊重義務を持たせかねない“悪法”です。戦後かつてない歴史的な安倍暴走政権を市民の力で変えましょう」と訴えました。